

ふるさと小野町会 ふれあい通信



英会話の思い出
横田 由雄
神奈川支部・湯沢出身

毎月小野町から届く「広報おのまち」を心待ちにしております。特に、7月号の外国語指導助手(A.L.T.)に関する記事は、羨望の念をもって興味深く拝見しており、中学英語学習の入り口でつまづいた小生にはうらやましい限りです。

30代のはじめ、日本製鉄大分製鉄所「厚板圧延工場建設プロジェクト」に参加した折、旧西ドイツに3週間の日程で、一人旅の海外出張指令を受けました。

任務内容は、日本製鉄がSIEMENS社から輸入する「直流8,000キロワット単電機子構造電動機」の土木基

礎図面を、SIEMENS社の立場で作図(A1版3枚)し、日本に持ち帰ることにした。(電動機は4畳半ほどの大きさ)

「英会話の経験なし…」の小生には、少々重荷の任務でしたが、「私は英語を話せません」のフレーズを複数考えながら、羽田〜アンカレッジ〜フラנקフルト〜SIEMENS社と旅をした貴重な体験は、その後の人生の糧となり、海外旅行の楽しさ・困難さ・有意義さを深く示してくれました。(ドイツ語は初体験でした。)

300人程の技術者が働く製図棟で、SIEMENS社の指導を受けながら無事に任務を果たし、休日には、鉄道時刻表を事前に調べた上で、急行列車で2時間ほどのミュンヘン市に一人で出掛け、国立博物館・教会・公園・運河などを散策し、素晴らしい街並み・景観に感動の日帰り鉄道旅も体験しました。

一人旅の海外出張以降、タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・中国・台湾・西ドイツなどの仕事を担当しており、日本国内の仕事・観光と合わせた飛行機の搭乗(滞空)時間は、500時間に迫っています。

社会生活基本調査を実施します



総務省と県では、10月20日を基準日として社会生活基本調査を実施します。

この調査は、私たちが1日のうちどのくらいの時間を仕事、家事、地域での活動などに費やしているか、過去1年間の自由時間にどのような活動を行ったかなどについて調査し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バ

ランス)の推進、少子高齢化対策などの政策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施します。

10月上旬から中旬にかけて、調査員が調査をお願いする世帯に伺いますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いします。

☎企画政策課 ☎72-6939